

## 会長挨拶 会誌の発行にあたって

会長 JA3AA 島 伊三治

総会が無事終了して、平成 15 年度がスタートいたしました。その最初の作業が兼ねてから懸案になっていましたクラブの会誌発行ということで大変喜んでます。

これは先日の総会でも、今年度の事業計画として挙げていましたが、こんなにも早く陽の目を見るとは思ってもみませんでしたので、担当の方々には厚くお礼を申し上げます。考えて見ますと我がクラブほどユニークな人材が集まり、しかも行動力のあるところは、手前味噌になりますが他には余り類を見かけません。従来からクラブ員の活動状況は、個々には ML を通じて知るこ



とが出来ましたが、今後は会誌にクラブの活動状況として公式に内外へ知らせる情報発信の源となるものと思います。その情報発信が国際交流に役立ち、アマチュア無線の発展にも多に寄与することと思います。皆さまから多くの情報を提供していただきながら、素晴らしい会誌に育てていきたいものと思います。編集担当の JA3AER 荒川さん、発行担当の JA3USA 島本さんにこれらのご苦労に感謝し、クラブ員の皆さまに会誌発行についてのご協力をお願いする次第です。よろしくお申し上げます。

## それは千里の大阪万博から始まった？

JA3UB 三好 二郎

戦後、私達アマチュア無線家は一般の人達よりも早く国際交流の機会を持つことが出来ましたが、大阪の人達が国際交流を肌で感じるようになったのは 1970 年の大阪万博の時からではないでしょうか。その XPO'70 で我が国最初の特別記念局 JA3XPO の開設運用に携わったメンバーが中心になって、この「大阪国際交流センターラジオクラブ」は 1987 年の「大阪国際交流センター」開館と同時に JO3LZG 下津氏の絶大なる尽力によって発足しました。発足時に JA3USA 島本氏が書いた文章は次のようなものでした（一部抜粋）。

「21 世紀に向けて国際化が急速に進んでいる日本、その中でも 20 年振りに開催されることになった国際博覧会「花の万博」や、開港が予定されている 24 時間空港を通じて大阪は大きく変わろうとしています。大きな行事による国際化も、本当は小さな個人レベルの国際化の積み重ねの上に成り立ってなければなりません。然し国際化という言葉が頻繁に使われても、殆んどの人にとってはそれを実感する機会はその間に無いのが実情ではないでしょうか。私達アマチュア無線家は電波を通じて内外の多くの人々と交信して対話するだけではなく文化交流や民間外交の一翼を担っています。このラジオクラブのメンバーは来日外国人や留学生のホスト等もしています。」

\* 次号から生い立ちを連載する予定です。



CTARL の皆さんは上級資格をとるための努力目標のある制度としては最高だと言っておられました。



\* 次回はベトナムでの運用記を予定しています。

## Taipei Taiwan



BX2/JA3DYU  
BX2/JA2TG  
BW2/JA9BV  
BW2/JP3AZA

見が大勢を占め、本格的検討に入りました。

最大の危惧は台湾での免許が間に合うだろうか問題でした。しかし、以前から台湾には和文 CW 及び日本語の出来る BX2AF 劉さんを中心とした CTARL の大勢の方々との親密な付き合いがあり、電話や FAX 等でのお願い等やりとりの結果、超特急で免許処理をしていただくことが出来、台湾でも運用が可能となりました。ベトナムへの往路で 1 日、復路で 3 日の台北市滞在でしたが、CTARL

## 台湾、ベトナムで和文 CW 運用

JP3AZA 河田 至弘

### 第 1 回 台湾 台北市からの運用

大阪国際交流センターラジオクラブの JA3DYU 及び JP3AZA と和文 CW を愛好する仲間では去る 3 月に台湾及びベトナムから和文 CW を中心とした運用を実施しました。当初はベトナムのみの運用



を計画していましたが、メンバーの殆どがリタイア組なので体力的にも一気にベトナムまでの長距離の移動は厳しく、気温、距離から見ても日本とベトナムの中間点にある台湾にも途中寄ったかどうかの意

の皆さんには 24LAND という大きなビル全体が 24 時間営業と言う台北の新名所で我々とのミーティングを持っていただき、また BX2AF 劉さんのシャックからは QRV させていただき大変お世話になりました。お世話になりました CTARL の皆様には厚く御礼申し上げます。ここで台湾の免許制度について述べてみたいと思います。台湾では資格別プリフィックス制度を採用していて BX=1 級、BU、BV=2 級、BX+サフィックス 3 文字=3 級、BM=4 級 (V, UHF のみ)、外国局は今年の免許から BW のプリフィックスが使用されることになりました。





# W6 へ届かないアンテナ JA3PYC 山本 哲夫

1.8MHzでW6とのQSOを目指していますが、なかなか実現できません。1.8MHzでは15mの長さのアンテナを使っています。DK8SQという10mの

長さの無線用の折畳式ホイップアンテナに

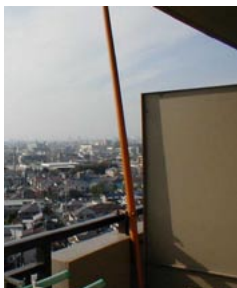
8mの釣り

竿を継ぎ足して全長15mにしています。ヨーロッパへは届いています。ベランダから外を見る限りアフリカまでは何とか届きそうですが、反対側のW方面は生駒山に引っかかるように、ほんとうに飛びにくいです。

取り付けは仮設という事もあり、ベランダ手す

りと隣家との隔壁を止める金具に縛り付けています。アースは、この隔壁止め金具に取っています。

この写真は救命艇用の6mホイップの写真ですが、長いアンテナは全てこの取り



つけ方をしています。

普段は、鉄パイプで作った槽から伸ばしたパイプに、釣り竿の先に細いアルミパイプを継ぎ足した7mホイップアンテナを取りつけて使っています。14階という事もあり、またマンション規約にもベランダから物が飛び出しては行けないとある

ので、アンテナは普段は降ろしています。BBS用のV, UHFアンテナは槽に取り付けてベランダから外へ出ない

ようにしています。一番手前のアンテナ

はJ13ZAG向けの1200MHzアンテナですが、時間によってはJ13ZAGからの応答がありません。本当に、今年中には、J13ZAGのアンテナ整備が必要です。



# J13ZAG 平成15年度事業計画

— 皆様のご協力をお願いします —

- ・ 月例会および毎週末のロールコールの継続
- ・ 関西アマチュア無線の祭典(関ハム)への出展
- ・ ファミリー電波教室への協力継続。
- ・ JAIG(日本・ドイツのアマチュア無線クラブ)総会 in 関西(2004年)への協力
- ・ アマチュア無線入門講座の開催について検討
- ・ 大阪国際交流センターへ多言語放送受像のための衛星放送TV受信装置の寄贈
- ・ SEANET コンベンション(ジョホールにて11月の予定)への参加
- ・ 電子書類(PDF)による会誌の発行と、ウェブ(KOKO ネット等)活用による行事のPR
- ・ クラブのホームページ立ち上げの検討
- ・ 大阪国際交流センターの行事や国際協力/親善行事に随時ボランティアとして協力/参加

**月例会**  
**大阪国際交流センター**  
**毎月第2金曜日**  
**0-110-11**  
**14.16MHz・毎週土曜 9:00JST**

# Dayton Hamvention 2003 May 16, 17 & 18 in Dayton, Ohio



Dayton 前夜のディナーがあちこちで。その夜はちょうど皆既月食。



コンテスター・ディナー



会場では各種のフォーラムが

イタリアからのIH9Pメンバーも



当クラブからはJA3UB三好氏とJA3USA島本氏が参加しました。



Daytonの空軍博物館には長崎原爆投下のB29が

## 編集後記 JA3AER 荒川 泰蔵

4月の総会で決まった会誌発行が、即翌月からというところにクラブの活力が感じられますが、この創刊号に原稿をお寄せ頂きました会員の皆様どうも有り難うございました。発行にはJA3USA島本さんのお手を煩わすことになりましたが、レイアウトの関係で漢字やかな文字は全角、アルファベットと数字は半角という制約があり、頂きました原稿を修正するのに手間取りました。一括修正ソフトでもあればFBですが、持ち合わせていない私にはキーを叩きなおすしか手がありませんでした。

また、文章の語調や送り仮名などにも各人の個性がありますので、趣旨を変えず個性も極力残しながら、会誌全体としてのバランスを配慮し、独断と偏見でもって一部修正させて頂いていますことをご了承下さい。当クラブの会誌は平成元年にも発行されていますが長続きしませんでした。これから毎月の発行となりますとかなりの努力が必要ですが、最も重要なことは会員が原稿を継続して書くことにあると思います。原稿は随時受け付けておりますので奮って投稿をお願い致します。